若手記者が振り返る

平成の東京産業界の歩み

都内信用金庫

波乱の時代、58庫から23庫へ

「失われた20年」といわれる平成は、金融業界にとって厳しい時代の幕開けだった。預金金利の自由化で、各金融機関は競争力の強化を求められるようになった。バブル崩壊の影響で経営不振に陥った金融機関も少なくない。

波乱の時代の中、地域に根ざす信用金庫の分布も統廃合で大きく変わった。東京都内では1989年に58庫あった信金は、現在23庫と半分以下に減少。王子信用金庫による武蔵野信用金庫の救済合併の事例もあったが、多くは他金融機関との競争に打ち勝つための合併だった。

生き残った金融機関は他庫との差別化に向け特色作りが重要だ。

都内信金最大手の城南信用金庫（同品川区）は金融自由化の中、懸賞金付き定期預金など話題となる新商品の取り扱いをいち早く始め、横並びの金融業界に一石を投じた。巣鴨信用金庫（同豊島区）は、融資は行わず経営支援に特化した中小企業支援「すがも事業創造センター（S－bizz）」を立ち上げ、独自の中小企業支援を手がける。朝日信金は信金初の、日本ユニシスのオープン応用プログラムインターフェース（API）を活用したOrigami（オリガミ、東京都港区）の電子決済サービスとの連携など、先端技術活用に力をいれる。

関係性が希薄といわれる都内でも各庫は地元イベントにも積極的に参加。地域に根ざした金融機関として、個性を打ち出し、地域経済を支えている。

朝日信用金庫のビジネスマッチングの様子。各庫は地域支援に向けさまざまな取り組みを進める

環境規制

「責任」から「戦略」へ

この30年間、環境問題に対する企業の自主的な取り組みへの意識が強まり、その位置づけは「責任」から「戦略」へと変化している。

1992年の地球サミット開催が環境政策の潮流をつくり、国内では93年に「環境基本法」が成立。環境政策の理念や枠組みを示した。従来、企業が重要課題として取り組んできた公害防止対策から、より積極的な姿勢で持続可能な社会の実現を目指す方針とした。公害の防止に加え、事業活動が環境に与える負荷の低減が求められるようになった。

環境管理システムに関する国際規格「ISO14001」や、それをベースにした中小企業が取り組みやすい認証制度「エコアクション21」が制定され、環境マネジメントシステム（EMS）の考え方が浸透。CSR（企業の社会的責任）の一環として取得する企業が増加した。

循環関連の法的枠組みが整備された2000年は「循環型社会元年」と位置付けられ、資源有効利用促進法、食品リサイクル法、家電リサイクル法、自動車リサイクル法などが相次いで制定された。規制を強化し、大量生産、大量廃棄の経済社会から現在も資源消費の抑制を目指す。

近年、15年の国連総会で採択された世界共通の「持続可能な開発目標」（SDGs）への取り組みが加速している。環境問題へ倫理的観点から対応するだけでなく、企業が戦略的にこれを活用し、いかに事業の成長につなげられるかが次世代のカギとなりそうだ。

SDGs関連への取り組みが加速している

外国人労働者

過去最高を毎年更新

4月から改正出入国管理法（入管法）が施行される。厚生労働省の調査によると1994年に日本で働く外国人労働者数は13万人。これが2016年に100万人を超え、18年は146万人と過去最高を毎年更新している。一方、日本の人口は10年の1億2805万人をピークに減少に転じ、人手不足はあらゆる業界、地域で顕在化している。

30年前は外国人労働者の数も少なく、雇用先は募集をしても日本人が集まらない3K（きつい、汚い、危険）職場だった。建設業や農業など低賃金、重労働で、労働環境はけっして良いとはいえなかった。

しかしこの30年で外国人労働者は急増し、コンビニエンスストアや飲食店などサービス業で多くの外国人が働く。東京都の産業別では「宿泊業、飲食サービス業」が最も多く全体の20%を超え、「卸売業、小売業」と続く。

人手不足に悩む都内中小企業では、外国人労働者の雇用を前向きに検討する企業も少なくない。すでに住居や教育体制を整備する企業もあり、日本のモノづくりを支える担い手としても期待される。

法務省によると17年の在留外国人数は256万人で、過去最高を記録。改正入管法の施行で、今後もさらなる増加が予想される。

政府は外国人が暮らしやすい地域社会づくりなどの施策に211億円を計上した。これからは外国人労働者と日本人が共生した社会をつくるため、〝多文化共生〟が重要なテーマになってくるだろう。

出勤の顔ぶれもグローバル化していく（写真はイメージ）

ベンチャー企業

IT企業台頭、競争激化

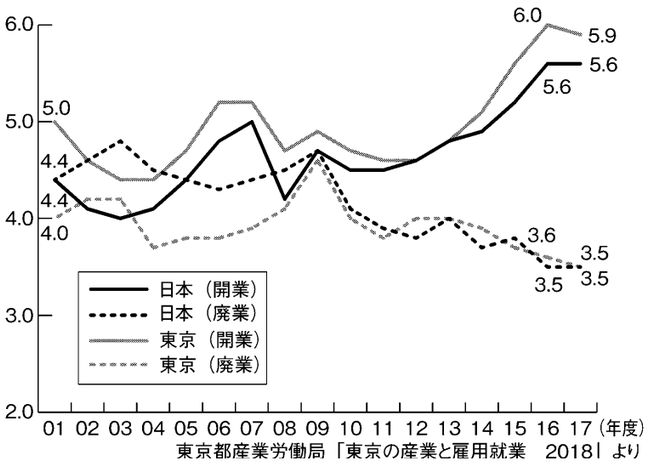
1989－91年の3年間は、全国値で初めて廃業率が開業率を上回った。特に製造業は80年代半ばから廃業率が先行。モノづくりの集積地である大田区内の工場数は83年の9177件をピークに減少に転じた。産業構造転換のうねりの中で平成は始まった。

90年代半ば以降、都内では情報通信（IT）産業が台頭。港、中央、千代田の都心3区と渋谷、新宿にITベンチャーが集積した。文学部から情報工学系の大学院を修了し起業した、ねこじゃらし（東京都中央区）の川村ミサキ社長は「インターネットに可能性を見いだした若い起業家が多く、会社を成長させようという熱を持っていた」と振り返る。

01年以降の数年は、都内事業所の開業、廃業率はそれぞれ年間4－5%。一方で、都内のインターネット関連業を見ると01－04年だけで新設67・7%、廃業54・7%と半数の事業所が入れ替わる厳しい競争市場だった。

00年代後半は、福祉や教育などの分野で起業が広がった。現在、教育産業は事業所の3割が多摩地域にあり、生活に根ざした地域で起業が進んでいる。IT産業も人工知能など新たな技術を取り込みながら成長を続け、起業は旺盛。18年に始まった品川区の地域活性化団体「五反田バレー」のように、民間企業と地域のつながりから新たな企業集積地の形成を目指す取り組みも生まれた。こうした中、都が掲げる開業率12%はどのような形で実現し、地域の発展につながるのか注目される。

東京及び全国の開業率・廃業率（雇用保険事業年報ベース）



東京都産業労働局「東京の産業と雇用就業 2018」より

東京産業界 特集

第22回 大田区中小企業新製品・新技術コンクール 奨励賞受賞製品
防水用 エレベーターボタン
特許取得済 公開番号：特開2011-175883

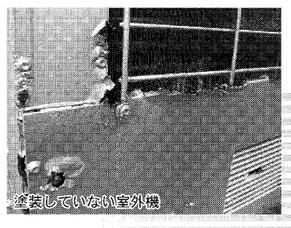
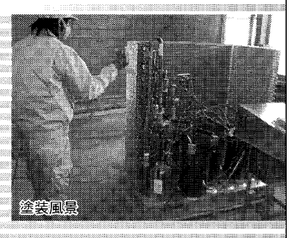
●設置場所を選ばない
防水防塵対応なので屋外や飲食業など厳しい使用環境でも大丈夫
●光る押ボタン
見えやすさ抜群！水の中でも光る押ボタン
●画期的エレベーターボタン
押ボタンとスイッチの間にシリコン製の透かし板を入れ
スイッチ本体の水の侵入を防ぐ
急ぎの時のオリエンタルさん！ 困った時のオリエンタルさん！
株式会社 オリエンタル工芸社
TEL.03-3763-3601 FAX.03-3763-2621
http://www.orientaru.co.jp
当社は平成28年度の優工場認定・表彰の工場です（（財）大田区産業産業振興協会）

Your Torque Partner
JCSS校正証明書付デジタルトルクレンチテスタ、デジタルトルクレンチを販売中。
また、既販品のJCSS校正も承ります。 JCSS 0281

常用参照用トルクレンチを用いたデジタルトルクレンチテスタ DOTE4 の JCSS 校正例

DOTE4 を用いたデジタルトルクレンチ CEM3 の JCSS 校正例
Your Torque Partner TOHNICHI
本社 〒143-0016 東京都大田区大森北2-2-12 TEL:03-3762-2452
株式会社 東日製作所
https://www.tohnichi.co.jp/

現場と本部の安全なファイル共有を実現
ネクストクラウド
Nextcloud
株式会社 スタイルズ
〒101-0052
東京都千代田区神田小川町 1-2
風雲堂ビル 6F
TEL：03-5244-4112
URL：https://www.stylez.co.jp

今までの防食塗装を凌駕する新塗装
超防食塗装
硫黄、塩害、さようなら!!
STOP
防食技術の更なる進化で、
過酷な環境下でも耐えられる塗装処理
長年、過酷な環境下では実現不可能とされてきた空調機の耐久性向上を実現するべく、耐海水性・耐食性などに優れているビニルエステル塗料の採用と、独自開発の高圧エアー送風ノズルを併用することで、新塗装「超防食塗装」の開発に成功しました。塗料を円柱形に噴霧すると同時に塗料の上に薄くて強い膜をはり、防食状態を従来より長く保つことができる技術です。また、通常では届かない極小の隙間奥までの塗装も可能です。新品を工場で塗装。従来塗装より永く機能維持できます。丈夫な塗膜を作り、より防食性を高め塩害や硫黄等から空調機を保護し、長持ちさせられるとユーザーから高い評価を獲得しています。

塗装していない室外機

塗装風景
日本電化工機 株式会社 http://www.n-denka.co.jp/ 〒158-0091東京都世田谷区中町2-3-4 TEL.03-5760-7011 FAX.03-5760-7511

60th anniversary
<機械・土木><化学・食品など>用途に合った
ホース、パイプ・継手を選定し製作いたします！
6Φ～150Φまでのホース加締めにも対応!!
300Φの大口径品も取り扱っております!!
「つなぐ」を考える

大口径サニーホース バンド締め金具付
ホース加締め機
ワンタッチ金具カムロック付サクションホース
コンクリート圧送管ジョイント金具付ホース
高圧油圧・洗浄用ホースカプラ付
創業60周年
株式会社 築地製作所
営業拠点：東京本社・札幌・仙台・新潟・広島・福岡
http://www.tsukiji-ss.co.jp/